

平成 24 年度第 2 回美濃市地域公共交通会議

(会議録)

○会議の日時及び場所

日時

平成 25 年 1 月 17 日 (木) 午後 2 時 00 分

場所

美濃市防災中央コミュニティセンター 2 階大会議室

○出席した委員及び説明のために出席した者の職、氏名

出席した委員

美濃市長 石川 道政

委員 19 名 (別紙のとおり)

委員 2 名欠席

説明のために出席した者の職、氏名

美濃市総務部長	梅村 健	(事務局)
美濃市建設部長	丸茂 勝	(市関係部署)
美濃市総務部総合政策課 課長	島田 利克	(事務局)
美濃市総務部総合政策課 課長補佐	井上 博司	(事務局)
美濃市総務部総合政策課 係長	辻 敦史	(事務局)
美濃市総務部総合政策課 主任	篠田 啓介	(事務局)

合計 26 名

○議事の件名及び経過の要点

交通会議次第

1. 開会あいさつ
2. 会長あいさつ
3. 議 事

議第 1 号 美濃市乗り合わせタクシー交通試験運行区域の拡大について… 資料 1

議第 2 号 自主運行バス「牧谷線」のダイヤ及び運賃の改正について… 資料 2

議第 3 号 美濃市乗り合わせタクシー 停留所の新設について… 資料 3

4. その他
5. 閉会

交通会議の概要

午後 2 時 00 分

事務局の島田総合政策課長の進行で開会

1. 事務局が開会あいさつ

2. 会長あいさつ

・美濃市長

<石川会長が議事を進める>

3. 議 事

議第 1 号について、事務局から説明する。

議第 1 号 美濃市乗り合わせタクシー交通試験運行区域の拡大について… 資料 1

【改正案】美濃市乗り合わせタクシー運行区域に大矢田・藍見地区及び中有知地区を増設する。

- ・ 資料 1 により、11 月、12 月の利用状況及び、アンケートによる満足度調査の結果を報告。
- ・ 運行計画案の説明。
- ・ 「わっちも乗る C a r」大矢田・藍見線、中有知線を廃止の説明。

<各委員からの意見>

※ 乗り合わせタクシーの区域拡大が試験運行であるならば、わっちも乗る C a r の廃止ではなく休止のほうが良いのではないか。

※ 利用状況の中で、乗り合わせ率がわかるか。

※ 事業者の感触はどうか。

回答⇒廃止ではなく休止とする。

乗り合わせ率 12 月 47.6% 11 月 41.6%

※ どこで何台出しているか。高齢者が多いのか。

※ タクシーの利用状況はどうか。

回答⇒8 時から 10 時は 5 台、それ以降は 4 台の運行である。

利用者の約 8 割が 100 円の利用者である。

美濃タクシー長瀬社長からの回答

⇒お客様には好評である。料金によってなのか乗務員の態度によってなのかはわからないが、市役所からクレームがあるという話も聞いておらず、お客様から感謝の言葉もいただいている。

既存のタクシーのお客様がデマンドに流れているのは多々ある。売上としては 11 月・12 月ともに約 3 割減。牧谷方面までの長距離移動が 3,000～4,000 円かかっていたのが 100 円で市内まで出てこられる。また燃料経費は 20%増となっている。

乗り合わせ率は増加している。なるべく同じ方面に向かうお客様を同じ車両になるようにしている。

乗り合わせを嫌がられる方、家まで来いという方、目の前を通ったのに止まらないというマナーを守られていないお客様も一部いる。

今後運行になれば売上は落ちてくるが、このシステムは停留所まで歩く必要があり、今後タクシーの利便性をアピールしていき、歩けなくなった時に利用していただけるようにしていきたい。

現在の料金については安すぎると感じている。

※ 市民の声は概ね好評であるが、アンケートの不滿意見を聞きたい。

回答⇒運行エリアについては現行の3エリアでは狭い。

停留所の位置はもっと家のそばにあったほうがいい。

運行時間についてはもっと早い時間、もっと遅い時間にも運行してほしい。

電話がつながりにくい。

停留所を間違えてしまう。

議長（美濃市長）

全職員を使い、自治会にて説明会を開催した。周知ができています。事業者もここまでやっていただけると感謝されている。

運転手の方の声として、忙しいがこれだけ感謝されて運行するのは喜びであるというものがある。

中部運輸局岐阜運輸支局 木村専門官

※ 安全運行が大前提である。効率化を図り、乗り合わせ率を高めて運転手の負担を軽減して行ってほしい。

岐阜県公共交通課 増田主査

※ 他の交通機関への乗り継ぎの運用について

回答⇒システムに時刻表を入力し、それに合わせたタクシーの予約配置できるようにしてある。

美濃タクシー長瀬社長回答

⇒乗り継げなかったという声はない。待ち時間が長いという声はあるかもしれないが、長時間待たせることはない。

長良川鉄道 坂本専務

※ 長良川鉄道利用の観光客に対して、どのようにPRしていくのか。

回答⇒市外の方向への周知が十分ではない。パンフレットに載せる、イベント時に利用していただくように周知徹底していく。

議長（美濃市長）

CCNでの放映などインフォメーション活動をしていく。

コ・モビリティとして、自転車でふれあいセンターまで、そこから乗り合わせタクシーで高速バス乗り場まで行き、外部に出かけるという流れができればよい。

岐阜大学 倉内教授

- ※ 定路線と比べての移動の変化等、指標を活用して分析してほしい。
通常デマンド型に変更すると利用者が減る。一般的にはダイヤに合わせて予定を立てる方が多いからであるが、広報等のおかげで減少していないが、移動をあきらめている方もいるはずなので、その辺りのあぶり出しをする必要がある。そのため、今まで移動があった部分の減少があれば分析しなければならない。

○ここで、会長が議事について、美濃市地域公共交通会議としての合意の採決を行う。

○議第1号 美濃市乗り合わせタクシー交通試験運行区域の拡大については、出席委員の拍手により、全会一致で合意される。

議第2号について、事務局から説明する

議第2号 自主運行バス「牧谷線」のダイヤ及び運賃の改正について… 資料2

【改正案】通勤通学時間帯中心の運行ダイヤとする。

現状の利用状況および改正内容の説明をする。

- ・ ダイヤについては早朝は洞戸方面から武義高校へ、夕方は武義高校から洞戸方面への便に特化する。
- ・ 運賃はゾーン制とし、負担を減少し、利用者増を図る。また定期券を廃止する。

美濃土木事務所 国枝道路維持課長

※ 洞戸方面から病院に来ることができるが、帰りの足はどうなるのか。

回答⇒おっしゃるとおりだが、昼間の利用よりは学生の通学需要がほとんどである。

岐阜大学 倉内教授

※ 洞戸方面行の第一便の利用者が多いが、今回廃止されるが大丈夫か。また、定期券の廃止で高くはないか。

回答⇒第一便は美濃市内の動きであり、睦橋から前野への移動である。すでに乗り合わせタクシー変わっている。

定期券についてはゾーン制のため、安くなる。

長良川鉄道 坂本専務

※ 長良川鉄道利用者の乗り継ぎと調整されているか。

回答⇒当然乗り継ぎ利用を考慮したダイヤにし、今後も微調整していくことになる。

美濃タクシー 長瀬社長

※ 運賃がかなり減額されているがバス会社はやっていけるのか。経緯を教えてください。

回答⇒ゾーン運賃は関市が導入している。また、乗り合わせタクシーに合わせている。

議長（美濃市長）

自主運行バスは美濃市と関市で岐阜バスに委託している。公共交通としての必要性があり、当面牧谷線の休止や廃止を考えていない。利便を増やすことで岐阜バスの利用を高

めたいという美濃市と関市の思いがある。赤字分については両市で負担する。県などの支援もいただく。公共交通としての料金判断である。
全体の公共交通として考えていく。

○ここで、会長が議事について、美濃市地域公共交通会議としての合意の採決を行う。

○議第 2 号 自主運行バス「牧谷線」のダイヤ及び運賃の改正については、出席委員の拍手により、全会一致で合意される。

議第 3 号について、事務局から説明する

議第 3 号 美濃市乗り合わせタクシー 停留所の新設について… 資料 3

既存の停留所では遠いという意見などを利用者から聞いており、また自治会からの要望に応える形で停留所を新設する。既存の 3 地区について平成 25 年 2 月 1 日より 34 か所の供用開始をする。

○ここで、会長が議事について、美濃市地域公共交通会議としての合意の採決を行う。

○議第 3 号 美濃市乗り合わせタクシー 停留所の新設については、出席委員の拍手により、全会一致で合意される。

4. その他

◎地域公共交通計画の策定について

現在調査を進めている。昨年 9 月～10 月にかけて市民アンケート・バスの利用者アンケート、12 月に乗り合わせタクシーの利用者アンケートを取った。集計が完了している。倉内教授の指導を受けながら詳細な分析作業をしている。結果として市民ニーズ、利用ニーズの把握をし、美濃市の公共交通の課題が明確になる。試験運行のデータ解析を含めて課題解決に向けた対策や評価指標に向けて交通会議や幹事会で提示していく。

もう一つとして、愛称の募集を行っている。「わっちも乗ろ C a r」のような親しみのある名前を募集する。学校の協力や広報の掲載をしている。

午後 3 時 9 分閉会

○委員出席者（18名）

区 分	所 属 名 及 び 役 職 名	氏 名
市長またはその指名する者	美濃市長	石川 道政
一般旅客自動車運送事業者及びその組織する団体の代表者又はその指名する者	岐阜乗合自動車株式会社 取締役乗合事業本部	武藤 行儀
	公益社団法人岐阜県バス協会	山田 芳喜
	岐阜県タクシー協会 美濃タクシー株式会社代表取締役	長瀬 輝彦
	長良川鉄道株式会社 専務取締役	坂本 桂二
住民又は利用者の代表	美濃市連合自治会 会長	藤田 勝克
	美濃市社会福祉協議会 会長	山腰 時安
	美濃市ボランティア連絡協議会 会長	伊澤 稔
	美濃商工会議所 女性会 会長	深和 照子
	美濃市観光協会 副会長	旦野 隆晃
	美濃市小中学校校長会	古田 信宏
	美濃市連合PTA 会長	加藤 修二
国土交通省中部運輸局 岐阜運輸支局長又はその指名する者	中部運輸局岐阜運輸支局 首席運輸企画専門官	木村 治史
一般旅客自動車運送事業者の運転者が組織する団体の代表者又はその指名する者	岐阜乗合自動車労働組合 執行委員長	三ツ村 秀樹
岐阜県美濃土木事務所 長又はその指名する者	岐阜県美濃土木事務所 道路維持課長	国枝 清量
岐阜県関警察署長又はその指名する者	岐阜県関警察署 交通課長	小路 和公
岐阜県都市建築部公共交通課長又はその指名する者	岐阜県 都市建築部公共交通課長	鍋島 寿 (代理出席)
市長が交通会議の運営上必要と認める者 学識専門者	国立大学法人岐阜大学 工学部社会基盤工学科 都市デザイン学 教授	倉内 文孝

○会議資料

【資料1】 ・美濃市乗り合わせタクシー交通試験運行区域の拡大について

【資料2】 ・自主運行バス「牧谷線」のダイヤ及び運賃の改正について

【資料3】 ・美濃市乗り合わせタクシー 停留所の新設について